



SSVC+の合言葉「できることを、できるひとが、できるときに 子どもの笑顔が報酬代わり」

始良市では、地域と学校がタッグを組んで青少年育成・地域づくりを進める「CS」・「SSVC+」事業を各地域で展開しています。コミュニティ協議会と学校から推薦された地域学校協働活動推進員が、コーディネーターとして学校と地域をつなぎ、各学校・地域で積極的に活動しています。今回は、帖佐中、山田中ブロックの取組を紹介します。

						
統括コーディネーター (帖佐中ブロック)	コーディネーター					家庭教育サポーター
	帖佐小校区	建昌小校区	松原なぎさ小校区	三船小校区	帖佐中校区	帖佐中校区
下園 昌三	福迫 薩美	村田 研史	福丸 英徳	片野坂 寿人	山下 暢志	土屋 トシ子

帖佐小校区

帖佐小学校区では、コミュニティ協議会が主催して田植えや稲刈り、餅つきなどの体験活動を行い、子どもたちに多様な学びの機会を提供していただいています。



子どもたちは地域の方々との交流を通して、農作物が育つ過程や食の大切さについて学ぶとともに、地域への親しみや感謝の気持ちを育んでいます。

今後も学校・家庭・地域のつながりを大切にしながら、子どもたちの豊かな成長を支える活動を進めていきたいと考えています。

(文責: 肥田知佳教諭)

建昌小校区

本年度、学校運営協議会が設置され、信頼される学校づくりのために地域との連携をいっそう深めることを確認しました。SSVC+活動としては、主に学校の要請に応じて計画を進めています。年間を通した教育活動の支援を展開する内容として児童の登下校の見守りをはじめ、生活科の「まちたんけん」の補助、水泳指導時のプール監視、長期休業中の工作教室、総合的な学習の時間の補助等を地域の方の協力も得ながら実践していきます。



(文責: 村田研史C)

松原なぎさ小校区

第5学年総合的な学習の時間の「伝統文化にふれて紹介しよう」において、始良市の伝統文化について調べ活動や体験活動を行います。

地域行事として取り組まれている「浜下り」についても学年内のグループが調べています。また、昨年度の地域行事当日には、参加を希望した12名の児童が、衣装を身にまとい、武者行列に参加しました。

令和8年度は、さらに学習を進め、地域に発信することで魅力の再発見と地域振興、そして学びに向かう力を育成していきます。(文責: 本田康幸教頭)



三船小校区

今年度も三船小校区では、コーディネーターやコミュニティ協議会をはじめとした地域の皆様から、登校下校時の見守り活動や田植え、芋の苗植え、稲刈り、芋ほり等の農業体験学習、3年生の塩づくり体験学習、4年生の地域の用水学習等、6年生の「春花太鼓踊り」体験等、様々な活動で子どもたちの学びや成長を支えていただいています。子どもたちも年3回の校区スポーツ大会や一大行事の秋祭り、鬼火焚き等の地域行事にも積極的に参加したり、全校で通学路の清掃活動を行ったりして地域への貢献も進めています。今後もこのような活動をとおして、さらなる郷土愛を育んでほしいと思います。(文責: 小倉真教頭)



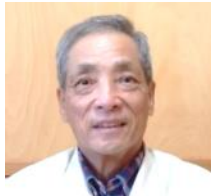
帖佐中校区

本校の学校教育目標である「自立した生徒の育成」の実現のためには、本市のSSVC+事業をはじめとした地域の教育力が欠かせません。これまでも総合的な学習の時間等において地域の方々から直接ご指導いただき、地域のことを具体的に学び、また、各部活動においては地域行事での演奏や作品展示等をととして本校をアピールする機会をいただきありがとうございます。

今年度からCS導入に伴い学校運営協議会が発足したことにより、これまで以上に学校と地域が連携した教育活動を推進していきたいと思ひます。創立80周年を迎える本校の「地域丸ごとの教育活動」へのご協力をお願いいたします。

(文責：佐藤勲教頭)



				
統括コーディネーター (山田中ブロック)	コーディネーター			家庭教育サポーター
	山田小校区	北山小校区	山田中校区	山田中校区
川田 博史	下靄 満伸	山元 英美	小川 恵	今村 和子

山田小校区

山田小校区は、学校教育目標「明るい社会の創り手となる山田っ子の育成」とし、重点課題に(知)主体的学び、(徳)思いやりの心、(体)健やかな体を掲げ、学校と地域が一体となって活動に取り組んでいます。



SSVC+事業では、6月11日に地域の方の協力でうなぎの稚魚を放流し、児童20名が「大きくなって帰って来てね!」と放流を共に体験しました。7月には、山田中校庭で「竹水鉄砲合戦」を北山コミュニティ協議会指導で、また、10月には第33回山田の里かし祭り、1月には第9回山田の里鬼火焚きを開催する予定です。鬼火焚きに欠かせない鬼面作り、地域の方が鬼面の骨格を作って頂き、子どもたちが多彩に赤・白・黒・黄色の鬼の面を描き、毎年、鬼の面が違ふので、大変風情があります。

(文責：下靄満伸C)

北山小校区

4月の筍掘りや5月のいちご狩り、6月のさつまいもの苗植えや田植え体験活動。北山の豊かな自然を活かした活動が大好きな子どもたちからは、最高の笑顔が見られます。



北山校区コミュニティ協議会の皆さんが田畑の整備や道中の草払いなど、子どもたちのためにご尽力くださるおかげで貴重な体験活動が成り立っています。

7月26日には初めて山田校区コミュニティ協議会と合同で「竹水鉄砲合戦」も開催します。デジタルではない遊び方に、きっとまた、最高の笑顔と豊かな心が育まれるのではないかと思います。

(文責：牧山淳教頭)

山田中校区

4月28日(火)に第1回学校運営協議会を開催し、6名の委員全員が出席(1名はオンライン参加)し、山田中学校のCSがスタートしました。

6月26日(金)には、1年生の総合的な学習の時間で「山田の史跡巡りウォーク」を開催し、今年度からSSVC+コーディネーターを務める小川 恵さんによるガイドで、「凱旋門」、「水口ゆきえ顕彰碑」、「西郷どんの腰掛石」等を巡り、山田の歴史について知識を深めることができました。

今年度もかし祭りや凱旋門清掃を通して、SSVC+の「+」の部分(学校が地域づくりに貢献すること)の充実を図ってまいります。(文責：野村伸吾教頭)



教えて！くすみん

コミュニティ・スクールの導入と地域学校協働活動 その4
コミュニティ・スクールの魅力は何ですか？ Part1

保護者にとっての魅力

学校への関わりを通して学校や地域への理解が深まることで、子どもが地域の中で育てられているとの安心感が生まれる。

保護者が学校に関わっていくことで、保護者同士のつながりや地域の人々とのつながりが生まれる。

